

2015年A B A C第3回メルボルン会議ニュースリリース【仮訳】

A B A Cはあまねく広がる成長を促す取り組みを提案する

メルボルン

2015年8月13日

あまねく広がる成長を円滑にするための迅速な行動をとることが、今週メルボルンで開催されたA B A Cの会合でのテーマであった。これは、今年11月にマニラで開催される毎年恒例のA P E C首脳サミット期間中に行われる、A P E C首脳とA B A C委員の対話でA P E Cビジネス諮問委員会（A B A C）が伝える主要なメッセージである。

「A P E Cのすべての参加国・地域において、仕事を生み出し、男性、女性、子供たちのすべての人々のためにより多くの繁栄をもたらす機会を提供することは、大企業、小規模の企業が直面する貿易・投資の障害を取り除くことができれば、実現可能である」と、A B A C 2015年議長のホー氏は述べた。

A B A C委員は、地域のあまねく広がる成長や、機会への公平・公正な参画の支援に関して、マニラでA P E C首脳にさまざまな取組みを提案する。こうした取組みには物理的、人的、制度的な連結性の円滑化、強健で包摂的な金融システム、零細・中小企業のグローバル市場へのアクセス促進やグローバル・バリューチェーンの参画推進、サービス関連事業の強化が含まれる。

「A B A Cはサービス分野の開発に重点を置いており、この分野はA P E C域内のビジネス活動における雇用（全体の46%）、成果（全体の70%）において最大の貢献を果たしており、零細・中小企業に重要なビジネスの機会を生み出している。サービス分野の成長の阻害要因の多くは、本質的には政策や規制等の構造上の問題であり、野心的な政策の導入や規制改革が必要である」とホー議長は述べた。

零細・中小企業は企業の97%を占め、A P E Cの個々の国・地域の雇用の90%を占めていることを踏まえ、A B A Cは更に、特に電子商取引を活用した国境を越えた貿易での零細・中小企業の参画の障害に対する取組み、金融へのアクセス向上、イノベーションシステム間のパートナーシップやネットワーク形成を通じたイノベーションの促進について、A P E Cがより一層の努力を進めていくことを求める。

「10年前にA B A Cが最初に提案したアジア太平洋自由貿易圏（F T A A P）は、1989年にA P E Cを創設した際にリーダー達が描いた、持続可能で、包摂的なビジネス環境を作り上げるための最も現実的な手段である」とホー議長は言った。「A B A Cは昨年のA P E C北京で始められた、F T A A P実現のためロードマップの設計にあたり、ビジネスの視点を提供していく。われわれは環太平洋パートナーシップ協定（T P P）、アジア地域包括的経済連携（R C E P）、太平洋同盟（P A）を将来のF T A A P形成の道筋として支援していく。またわれわれはA P E Cの国・地域が、ナイロビで行われるW T O閣僚会合においてリーダーシップを発揮して、多角的貿易体制の基本的な重要性を認識することを求める。

A B A Cはまた、A P E C構造改革大臣がアジア太平洋地域における貿易・投資関連の政策に起因するゆがみや、構造的な障害に対して、大胆に、決断力のある措置をとることを求めた。